

New Platform

はじめに

村上(写真)が提唱する**キャスパアプローチ(CA)**は、多くの重症心身障害児の生活上の困難の緩和・生活の質(QOL)向上に寄与してきた。



C (Caput) 頭
A (Axis) 軸
S (Skelton) 骨格
P (Proportion) 均整
E (Enjoy) 楽しむ
R (Relax) リラックス

1

New Platform

はじめに

近年、その効果を実感したセラピストや医師、看護師、教員、保育士、教授、研究者等の**多様な分野の専門職**が、CAの必要性和重要性を感じ出している。



2

New Platform

はじめに

その流れの中で有志らによって**New Platform(NP)**というプロボノ組織が立ち上がり、CAを軸に従来の考えに捉われない新たなプラットフォームの構築に向けた取組が行われている。



▲ New Platformホームページ



▲ New Platformのロゴ



▲ New Platformの皆さん

3

New Platform

生活機能評価

LIFE

Life Inventory to Functional Evaluation

重症心身障害児・者の生活機能をいくつか分類し、客観的な観察に基づいて評価する指標。評価の実践には各機能分類ごとに用意された質問に一問一答形式で回答し、回答項目ごとに設けられた点数を合計することで、被評価者の生活機能を具体的に把握することができる。

4

New Platform

LIFEの導入に至った経緯

NPのメンバーは、各々がそれぞれの現場で、それぞれの専門性を生かしながら重症心身障害児が抱える問題の本質と向き合っている。CAによる座位と臥位のポジショニングは、**身体の痛みや側弯の進行等の緩和に貢献し、その結果QOLが向上した**との報告が届いている。

▶ New Platformのカテゴリ別会議 一覧

- ・乳幼児期カテゴリ
- ・CA検証・研究カテゴリ
- ・学生・成人期カテゴリ
- ・側弯カテゴリ
- ・高齢者カテゴリ
- ・嚥下カテゴリ

5

New Platform

LIFEの導入に至った経緯

これらを個別の特例とするのではなく、普遍的かつ再現性の高いアプローチとして確立できないかと考えた。このポジティブな変化を客観的に評価するため、重心の方の**生活機能評価LIFE(Life Inventory to Functional Evaluation)**を導入した。



6

New Platform

LIFEの実践

日常生活に困りごとを抱えるお子さんとそのご家族を対象に、CA理論で開発した道具や環境設定の提供で困りごとを解決する研究機会として、『**かいけつLabo**』を立ち上げた。



▲ Laboに来たご家族で泊まれる室内キャンプ場



▲ かいけつLabo会場

7

New Platform

LIFEの実践

『かいけつLabo』にお越しいただいたお子さんの経時的な変化を追うためのツールとしてこのLIFEを活用した。実際にLaboに来ていただいて環境設定を行い、その後は**1か月ごとにLIFEアンケート**を実施。



▲ LIFEの評価表を電子化することで、毎月来ていただかなくてもアンケートを実施できるようになった。

8

New Platform

LIFEの実践

LIFEアンケートの結果を通して、**家庭での困りごとの解決にどのように貢献できたか**を把握することができる。また、『困りごとが解決しない』『新たな困りごとが出てきた』などの場合はLaboに直接お越しいただき、より良い方法を検証・実践するという活動を繰り返した。



9

New Platform

LIFEの実践



保護者の困りごとを聞き取り、**座る環境・手で遊べる環境を整えた**。腰を突っ張る様にして座面の前方に前滑りしてくるという悩みがどう変化するのか**LIFEアンケート**にて経過を追っている。

10

New Platform

LIFEの実践



側弯の変化によって今お使いの椅子に座れなくなったとのこと。エアベッドで体を緩め、抱っこで身体のアライメントを確認して**座位保持椅子の形状を修正した**。リハや家庭への訪問を続け経過をみている。

11

New Platform

LIFEの実践



医療的ケアのあるお子さんと、睡眠時等に呼吸状態が悪くなるとのこと。シュクレハイブリッド、シュクレバギーの製作を決めて新しい座る環境で様子を見るのと同時に**あごうけを作って呼吸が楽になる道を探る**。

12

New Platform

LIFEとCAの親和性①

LIFEは、重心児・者の**普段の日常生活の様子**を客観的に評価していく。そしてCAは、普段使う椅子・普段寝ている寝具の形状を整えることで**普段の日常生活にアプローチ**していくものである。

LIFE : 日常生活の様子を評価
CA : 日常生活をよくする提案

13

New Platform

LIFEとCAの親和性②

CAで明らかになってきている、『**寝る姿勢・座る姿勢を整えること**』によって起こる変化に、『**膝下機能の向上**』や『**血中酸素飽和濃度の数値改善**』などが報告されている。これらはLIFEの評価項目に含まれる。

質問項目の例

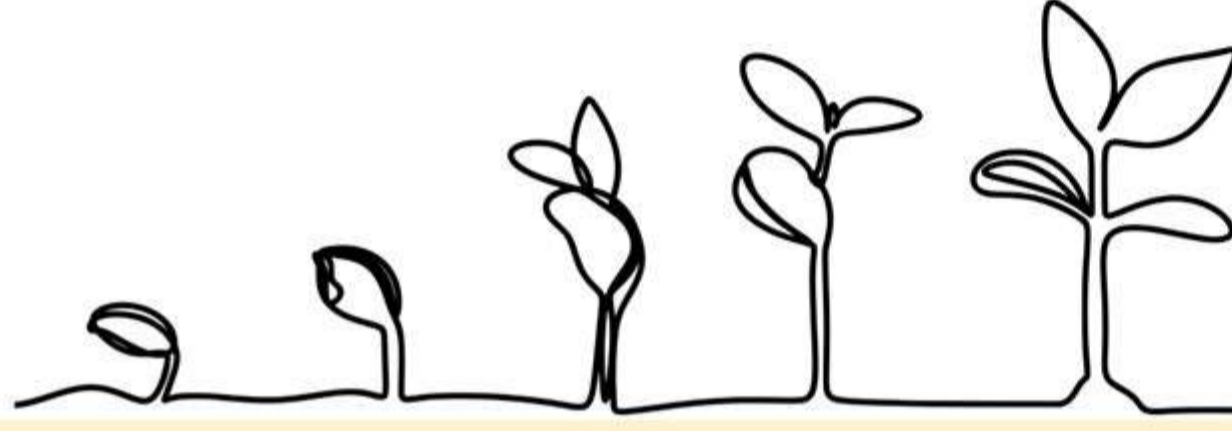
- 質問: SpO2 モニターの使用頻度
- (3) 普段の生活において、SpO2 モニターを使用することはない
 - (2) 普段の生活において、毎日ではないが、SpO2 モニターを使用することがある
 - (1) 普段の生活において、1日に一定の時間、SpO2 モニターを使用している
 - (0) 普段の生活において、終日、SpO2 モニターを使用している

14

New Platform

LIFEとCAの親和性③

LIFEで評価される生活機能には、『**活動への参加**』や『**人とのかわり**』などの項目がある。CAでは、寝る姿勢・座る姿勢を整えることでこういった機能を獲得するための『**個別発達**』を促す効果があると考えられており、発達の評価という点においてもLIFEとCAの親和性は高い。

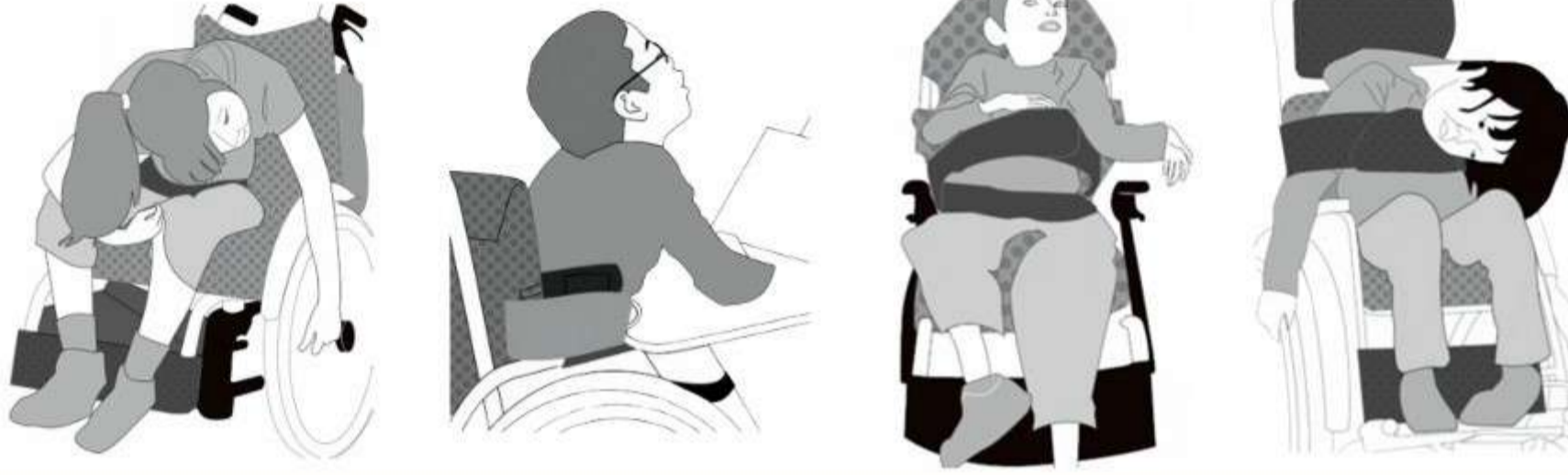


15

New Platform

不都合を引き起こす『固定』

NPでは、体が使いにくい方々の多くの困難は、不安定な環境に対応しようとする中で引き起こされる『**過剰で継続的な筋緊張**』が主たる要因になっていると考えている。これをNPでは『**固定**』と呼んでいる。

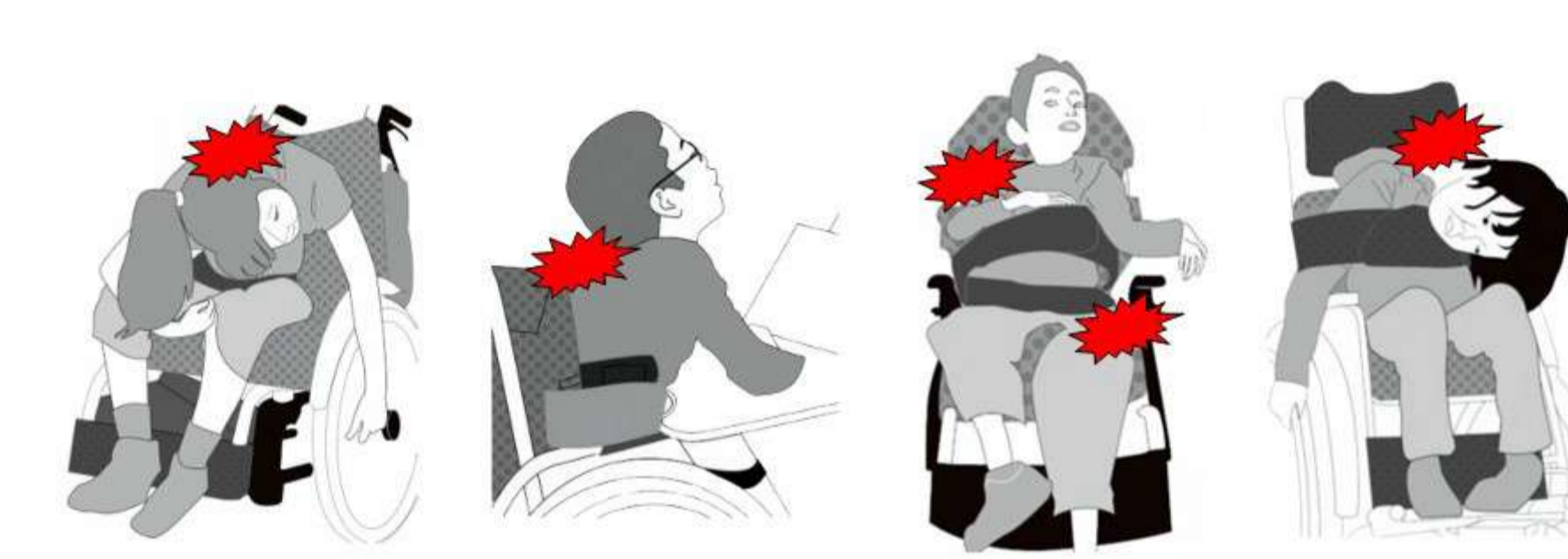


16

New Platform

不都合を引き起こす『固定』

身体の力が抜けずに『**固定**』した状態が続くと、筋自体が硬くなったり側弯進行の要因となってしまうことがある。



17

New Platform

不都合を引き起こす『固定』

CA理論で椅子や寝具の環境を整えると、不安定さが改善され『**固定**』しなくても**過ごすことができるようになる**。日常生活における、『**過剰で継続的な筋緊張**』の緩和につながる。



18

New Platform

固定からの解放

LIFEにはCAによってもたらされる『**過剰で継続的な筋緊張の緩和**』を評価できる項目が無いという課題がある。

Part II : 姿勢と運動

- A. 背臥位における姿勢と運動
- B. 背臥位における頭部の運動
- C. 背臥位における骨盤および下肢の運動
- D. 背臥位における上肢の運動

▲ LIFEのチェックリストから質問項目の一部を抜粋、『筋緊張を緩めることができた』というような記載はない。

19

New Platform

固定からの解放

NPでは、この筋緊張の緩和を『**固定からの解放**』と呼んでいる。長年の固定から解放されたお子さんは安定した環境を手に入れることで日常をリラックスして過ごすことができる。

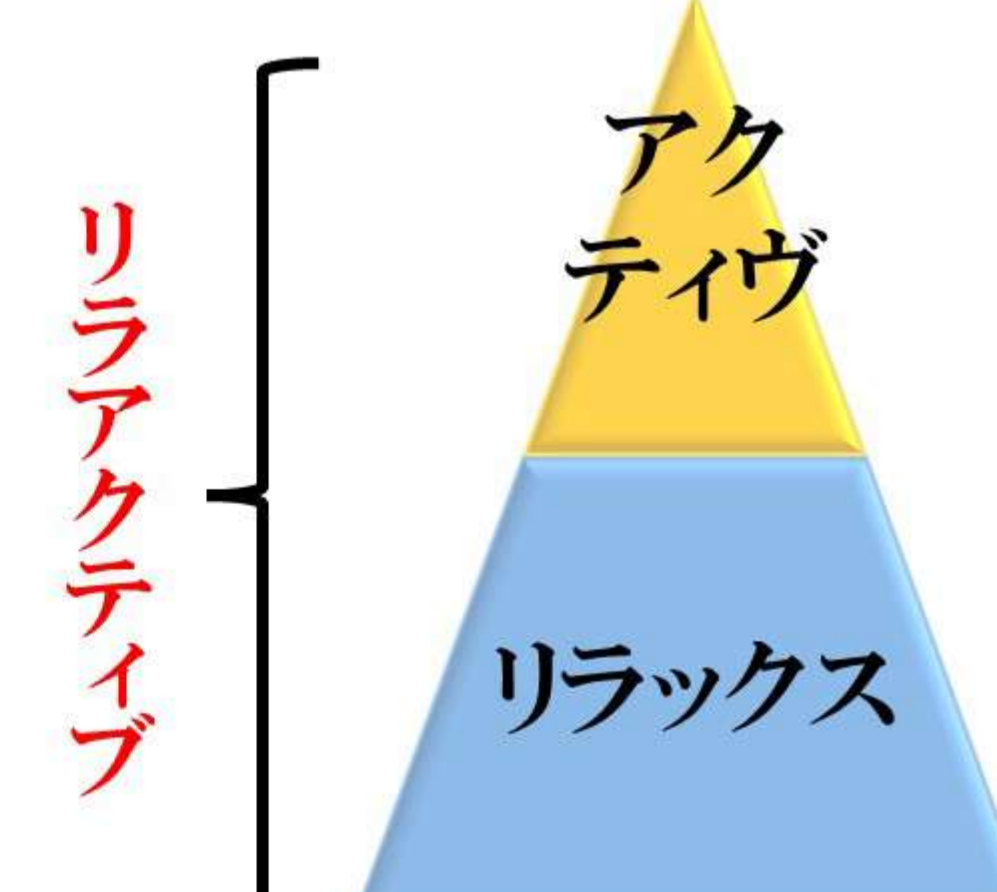


20

New Platform

固定からの解放

不安定が取り除かれ、固定から解放されたお子さんは**自らの興味関心に基づいて自動運動を始める**。リラックスするからこそアクティブになれるというこの現象を**リラクティブ**と呼んでいる。



21

New Platform

CAによる変化を捉えるために

固定からの解放がQOL向上に直結するため、**固定を評価する項目が必要**になる。しかし、現状では『**固定**』を評価する指標は未確立である。

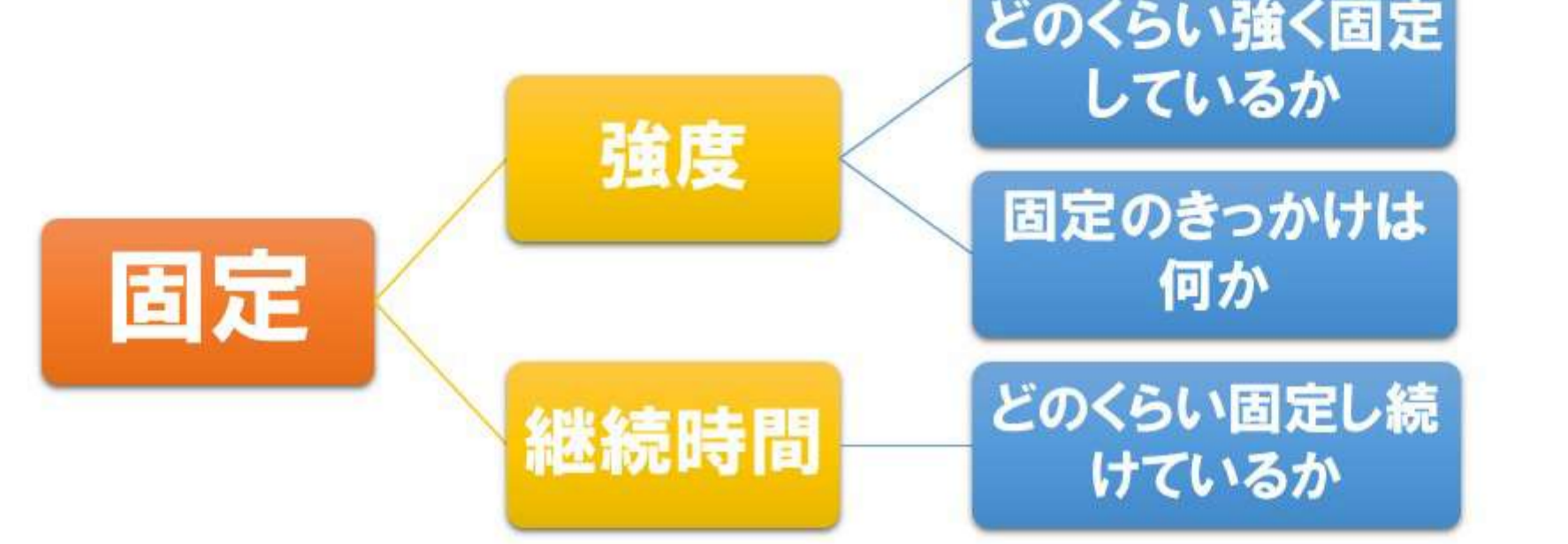


22

New Platform

CAによる変化を捉えるために

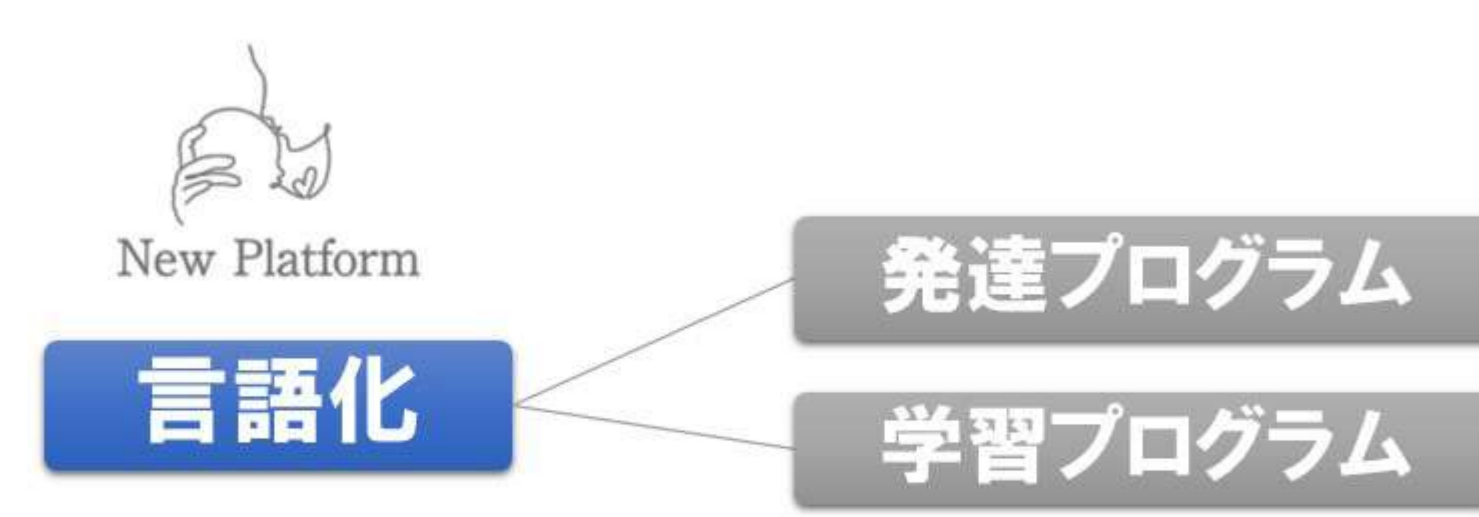
従って、姿勢環境や**固定の強度、継続時間**などの条件を考慮に入れた新たな評価軸の構築が必要である。



23

New Platform

CAによる変化を捉えるために



24

New Platform

おわりに

今後の研究と実践において新たな評価軸を構築し、CAによるポジティブな変化を正確に評価することによって**重心児の更なるQOL向上に繋げていきたい**と考えています

ご清聴ありがとうございました

大久保 雅弘

25

New Platform

Before After 集



26

New Platform

プロボノ組織のわたしたち

プロボノ組織: 自分の仕事で得た専門知識やスキルを活かして社会に貢献していく**有償活動**のこと。



27